

# 令和2年度 友愛認定こども園事業報告書

## 1. 友愛認定こども園運営状況

### (1) 施設運営の法的根拠

社会福祉事業法第2条第3項による第2種社会福祉事業であり、児童福祉法第35条第3項による児童福祉施設として認可を受けている。  
 北海道知事認可（昭和59年4月1日石社福第7号指令）  
 幼保連携型認定こども園として平成29年4月1日認可を受けている。

### (2) 施設の目的

保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、就学前の子どもに教育・保育を一体的に行うことと、地域におけるすべての子育て家族を対象に子育て不安に対応した相談活動や親子の集いの場の提供などの支援を行うことを目的とします。

### (3) 入所園児実績数

平成29年、30年度の入所率(定員66名)

- ・平成29年度 804名入所 101.5% < 120%
- ・平成30年度 847名入所 103.8% < 120%

昨年度の入所率(定員68名)

- ・平成31年度 924名入所 113.2% < 120%

令和2年度 入所園児実績数 (単位:人)

月	1号認定	2号認定	3号認定	計	備考
4月	7	34	30	71	
5月	7	34	30	71	
6月	7	34	30	71	
7月	8	34	31	73	
8月	8	34	31	73	
9月	8	34	31	73	
10月	9	33	33	75	
11月	9	33	33	75	
12月	9	33	33	75	
1月	9	33	33	75	
2月	9	33	33	75	
3月	9	33	33	75	
計	99	402	381	882	

入所率 108% < 120%

## 2. 保育の内容

### (1) 保育理念・保育目標・保育方針

《保育理念》 感謝・謙虚・共感

《保育目標》

- よく遊び夢に向かって生きる子ども
- 豊かな感性を持ち、人や自然・物を大切にする子ども
- 自分で考え、行動できる子ども

《保育方針》

- 人権に配慮し一人ひとりの人格を尊重した保育を行う。
- 子どもの発達に応じた人・物・場等の環境を構成し、工夫して保育を行う。
- 専門性や園の特性を生かし、保護者・地域への子育て支援を行う。

### (2) 保育内容の具体的展開

- ① 家庭的環境、雰囲気の中で一人ひとりの欲求を満たし、信頼関係を構築し心身ともに健康で安定した情緒を育む援助をしました。乳児は家庭との連携を密にしながらか適な環境の中で食事・睡眠・排泄などの生活リズムを整えながら「担当制」により安心して過ごせるように配慮しました。
- ② 幼児は異年齢保育を通して、人を思いやる心と自主的で協調性のある態度を養い、人権尊重の芽生えを育むことに努めました。戸外の自然に触れ感性豊かに育つ保育を目指しています。
- ③ 自然や社会現象への関心を育て、保育者や友だちとの関わりから豊かな言語と人の話に興味を持って聞くことができる態度を促しました。毎日、絵本読み聞かせを行い、豊かな感性を育み、文字への関心を高めました。
- ④ 延長保育は一人ひとりの子どもの心身の状態に十分に配慮し、安心して過ごせるように配慮しました。

令和2年度 延長利用園児実績数(延べ人数)

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
早朝延長	3	2	1	3	3	1	7	10	3	20	18	25	96
夜延長	16	7	9	15	28	15	71	50	75	46	66	57	455
合計園児	19	9	10	18	31	16	78	60	78	66	84	82	551

⑤ 令和2年度は障がいのある子どもはいませんでした。発達に遅れがあったり心配な子どもの保護者の相談に応じ、こども発達支援センター・児童相談所等の専門機関との連携を取りながら保育に活かしてきました。

⑥ 体育担当保育者による体育指導を意図的に行い、体力作りやルールを理解・ゲームの楽しさを伝えました。姉妹園とのサッカー大会に参加し、運動の楽しさを味わえるように配慮しました。

⑦年 8 回の異文化交流・造形・サッカー・リトミックの専門講師による学びの場を通して集中力や感性、身体能力の向上を促す予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で年 3 回のみ行いました。

⑧姉妹園との交流は 5 月に年長組によるまきば交流会が新型コロナウイルスの影響で中止となりました。10 月には衛生管理をしっかり行いまきば認定こども園とサッカー大会等を行い、交流を深め社会性を養いました。老人施設、小学校、高等学校の生徒との交流は計画していましたが、新型コロナウイルスの影響で全て中止となりました。

- (3) 保育の形態
- ・ 0, 1, 2 歳児は年齢ごとのクラス編成
  - ・ 3, 4, 5 歳児は異年齢混合のクラス編成  
(年齢ごとの活動は、週 2 回(木・金曜日)行う)

(4) 健康管理

嘱託医と連携を図り、健康管理、病気の早期発見に努めて感染症等に適切に対処し健康な生活を過ごせるように努めました。

- ・ 内科検診 全園児 年 2 回 令和 2 年 4 月 18 日中止 令和 2 年 10 月 8 日実施
- ・ 歯科健診 全園児 年 1 回 令和 2 年 7 月 3 日実施

(5) 給食

①全園児に完全給食を実施し温かい食事を提供し、おやつは手作りにしました。栄養士が立てる献立を基本としたカロリーや栄養のバランスに配慮した食事を提供しました。

②食物アレルギー児対応食は保護者との連携を十分に図りながら全職員の共通理解のもとに進めました。調理士と保育者が 2 重チェックで確認を行いました。

③「食中毒予防マニュアル」を活用し、衛生管理を徹底して行いました。

④栄養供与実績

栄養素 区分	熱量	蛋白質	カルシウム	鉄	ビタミン			
					A	B 1	B 2	C
	Kcal	G	Mg	Mg	u g	Mg	Mg	Mg
3 歳以上児	559	13.2~28.0	258	2.4	215	0.30	0.34	22
3 歳未満児	460	14.8~22.8	216	2.2	192	0.24	0.29	19

年間を通して、上記の栄養をバランス良く与えることが出来ました。

(6) 安全防災

①専門家による遊具保守点検年 1 回、また職員による安全点検を毎月行いました。

②避難訓練計画は職員が立案し毎月行い全職員が子どもを守る意識を高めまし

た。6月に石狩南高校と連携した避難訓練を計画しましたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。その為園児と職員のみで石狩南高校まで校内には入らず避難するところまでの訓練を行いました。

③戸外活動の際には「地区防災ガイド」を活用し、不慮の災害に備えました。

また石狩市防火協会の指導の元「非常災害対策マニュアル」を作成し災害発生時には職員が落ち着いて子ども達の安全を守れるようにしました。

④令和元年度から緊急時の保護者への連絡手段として「緊急時一斉メール」を活用し、迅速な対応を行っています。また令和2年度の施設機能強化推進費でバッテリーを購入し冬の停電等に備えています。

⑤新型コロナウイルス感染防止対策として「各保育室・遊戯室に空気清浄機・加湿器設置」「登園前、午睡後の検温」「消毒の徹底」「大人のマスク着用」「密を避ける保育形態」「行事の見直し」等を行いました。また新型コロナウイルス関係の補助金で換気機能のあるエアコンや空気清浄機等を購入し、更なる予防に努めました。

#### (7) 諸会議

①職員会議、保育会議、リーダー会議、クラス会議、研修会議を定例に行い、円滑な園運営の基盤になりました。

#### (8) 職員研修

①園内研修は3年間継続して「生きる力を育む保育」を研究し、子どもの記録をもとに話し合い、より良い関わりの仕方を学び実践しました。

②園外研修は専門分野(乳児・幼児・障がい児・施設視察等)を学び、保育実践や保護者対応に活かす予定でしたが、新型コロナウイルスの影響でほとんどの研修が中止となりました。年度後半はオンライン研修に参加しました。

③法人研修では「非認知能力を育む環境作り」を研究しました。更に2月に行われた法人の「保育士合同研修会」で他園の発表内容を学び、資質の向上に努めました。

(9) 苦情解決状況 ・ 苦情受付数0件 ・ 未解決0件 ・ 第三者委員通知数0件

#### (10) 個人情報保護

①法人の「個人情報管理規定」及び「特定個人情報取り扱い規定」に基づきホームページや市内パネル展に写真を掲載する等の場合、保護者に確認を取るなどして適正に取り扱いました。

### (11) 事故対策

園の「安全管理マニュアル」やヒヤリハット報告・事故報告を活用したり、事故が起こった場合は、職員の打ち合わせの時間で報告し、その日のうちに周知徹底し、事故原因を話し合い、再発防止に努めました。事故は子どもの発達特性と密接な関わりを持って発生することを踏まえ、子どもの心身の状態を保育会議や毎日の打ち合わせで職員間で共有し、安全対策に努めました。

### (12) 地域子育て計画

石狩市で発行している「子育てネットマガジン」に園開放情報を掲載し、5月から10月まで月2回地域の親子に園庭を開放したり、月1回子育て広場を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で9月に1回子育て広場を実施できた(参加者1名)のみでした。見学もほとんど中止で、地域の方々との交流も新型コロナウイルスの影響で例年より行う事ができなかつたです。

### (13) 実習生受け入れ

令和2年度は新型コロナウイルスの影響でキャンセルになった学校もあり、結果藤女子大から1名、札幌こども専門学校から1名計2名のみ受け入れました。(その両名とも令和3年度採用となりました)

中・高校からのボランティア、キャリア体験はともに中止となりました。

### 令和2年度 友愛認定こども園 年間行事実施報告

月	行 事	月	行 事
4月	17日 新入園児顔合わせ会 18日 全園児内科検診 中止 25日～こどもの日お楽しみ会	10月	1日 防災訓練 中止 2日 まきばサッカー大会 9日 焼き芋会 10日 全園児内科検診
5月	20日～23日 クラス懇談会 中止 23日 まきば交流会 中止	11月	16日 生活発表会 20日 年長児懇談会(就学に向けて)
6月	6日 歯科健診 18日石狩南校合同避難訓練 中止 20日 お楽しみ会 25日 バス遠足 中止	12月	4日 餅つき 15日 花川南小交流会(年長)中止 24日 クリスマス会 27日 就学前交通安全(年長)
7月	3日 交通安全教室 19日 らいおんスペシャルデイ	1月	9日 新年お楽しみ会 12日 法人合同研修会
8月	2日 縁日(園内のみで実施) 7日 セタお楽しみ会	2月	3日 節分 14日 雪中ゲーム大会 17日～20日 クラス懇談会

9月	7日 運動会	3月	3日 ひなまつり会
	12日 敬老お楽しみ会		7日 卒園式
	20日 希久の園訪問 中止		19日 お別れ会
	26日 人形劇観劇		
	28日 年長親子遠足(現地集合で実施)		

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止や延期、縮小になった行事があります。
- ・毎月の行事～ 小遠足・お弁当の日、避難訓練・身体測定・体育指導。
- ・誕生会は、一人ひとりの誕生日当日にクラス毎でお祝いしました。
- ・保育参観は例年は5月から12月の保護者の希望日(平日)に合わせて随時行い、給食試食と個人懇談も併せて行っていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で給食試食は行わず10月から参観と懇談を行いました。保護者懇談会も5月は中止し、2月のみおやつ試食を行わずに実施しました。
- ・クッキング・・・管理栄養士の指導のもと調理体験をしましたが新型コロナの影響で例年の半分の回数しかできませんでした。  
5歳児・・・年5回 4歳児・・・年1回 3歳児・・・年1回
- ・異文化交流、リトミック、造形教室は年3回、サッカー教室は年5回行ないました。  
(外部講師の活動も新型コロナウイルスの影響で年8回の予定が以上の回数しかできませんでした)